

昔と今のテレビ番組の違い

～バラエティ番組について～

1班

- ▶ テレビ番組のジャンルで、ゲストを招いてクイズや歌謡をはじめとする様々な企画を組み合わせる行う娯楽番組の一種。

出典: フリー百科事典『ウィキペディア (Wikipedia) 』

バラエティ番組とは



- ▶ 1990年代以前に比べ、現在のバラエティ番組では出演者がひな壇で話す、ひな壇型が主流となっている。
- ▶ 単純に視聴者が見るだけではなく、自分がクイズ番組に参加できたり、リモコンのdボタン等で番組独自のイベントに参加できたりするようになった。
- ▶ 昔に比べ、規制が厳しくなったのか表現が控えめになっている。(例・志村けんのバカ殿様)

バラエティ番組の変化

- ▶ 「いじられ芸人」の存在によって大人達が、人の容姿等を罵倒したり叩いたりしても、いじる側が誰からも怒られずにみんなに肯定されてしまう。そのためバラエティ番組がいじめのお手本と化してしまっている。
- ▶ 外国人が日本の文化を間違っ取り入れたり、知識があまりないことを嘲笑するような番組が増えてきている。

昔と比べた今のバラエティ番組の問題点

- ▶ 最近のテレビ番組は一部を除き視聴率が落ちてきている。しかし、一定の視聴層を手に入ればすぐに人気番組となることができると思われる。今の番組は視聴者を手に入れるためにも革新的な番組を作れば昔のように視聴率が上がるのではないかと思った。
- ▶ 今は楽しい、面白いなどの感情を視聴者に与えている番組が多いが、昔の番組は、夢や希望などの生きる源というものを与えている番組であったと思う。
- ▶ 昔に比べ、人を楽しませる番組として進歩している部分もあるが、悪い部分がどうしても目立ってくると感じた。

感想